読書の家から

あぶた読書の家　（☎ 76-2100）
［時間］10時～16時20分　［休館日］木曜日、祝日
みずうみ読書の家　（☎ 75-4702）
［時間］10時～15時　［休館日］木曜日、祝日
洞爺総合センター図書室　（☎ 82-5111）
［時間］9時～16時30分　［休館日］なし

今月の1冊

チロヌップの子　さくら

たかはしひろゆき

北の孤島チロヌップで、与平の娘さくらときつねのチロは兄弟のように暮らしていました。ずっと一緒に育ってきた２人の間には、計り知れない絆があり、さくらが亡くなった後も、ずっとそばにいたチロ。美しくも悲しいお話となっています。（あぶた読書の家所蔵）

新刊案内

■あぶた読書の家

＜一　般＞▽人面瘡探偵（中山七里▽みちづれ猫（唯川恵）▽落日（湊かなえ）▽北海道命名150年記念「ほっかいどう百年物語」＜上・下＞（STVラジオ編）

＜児童書＞▽大人になっても忘れたくない　いもとようこ世界の名作絵本Cセット（全4巻）（いもとようこ）

■みずうみ読書の家

＜一　般＞▽▽歩道橋シネマ（恩田陸）▽わが殿＜上・下＞（畠中恵）▽大名倒産＜上・下＞（浅田次郎）▽せき超えぬ（西條奈加）▽サイレント・ブルー（樋口明雄）▽暗躍領域新宿鮫XI（大沢在昌）▽十三階の血（吉川英梨）

＜児童書＞▽なんだろうなんだろう（ヨシタケシンスケ）▽そらからきたこいし（しおたにまみこ）▽虹いろ図書館のへびおとこ（櫻井とりお）▽七不思議神社　森に消えた宝（緑川聖司著／TAKA絵）

■洞爺総合センター図書室

＜一　般＞▽錨を上げよ　一　出航篇（百田尚樹）▽錨を上げよ　二　座礁篇（百田尚樹）▽錨を上げよ　三　漂流篇（百田尚樹）▽錨を上げよ　四　抜錨篇（百田尚樹）▽君たちは今が世界（朝比奈あすか）

＜児童書＞▽しょうぼうじどうしゃ　じぷた（渡辺茂男著／山本忠敬絵）▽たまごのあかちゃん（神沢利子著／柳生弦一郎絵）▽とけいのえほん（とだこうしろう）▽パンダのパンやさん（岡本よしろう）▽みずとはなんじゃ？（かこさとし著／鈴木まもる絵）

絵本の玉手箱　３月のおはなし会
■**日　時**　3月23日（月）、4月13日（月）10時～11時30分、3月19日（木）14時～15時30分小学生以上対象
■**場　所**　あぶた母と子の館
■**問合せ**　佐藤（☎ 76-2487）

ピノキオの会　読み聞かせ
■**日　時**　3月13日（金）14時40分～15時10分
■**場　所**　あぶた読書の家
■**問合せ**　松本（☎ 76-2613）

地域おこし協力隊通信 vol.24

今月のリポーター
平岡　龍さん

洞爺湖町で2回目の冬を迎えました。去年に比べ今年の冬は雪が少なく、暖かい日が続いています。運転のしやすさや雪かきのことを考えると去年より過ごしやすいと思っていました。

しかし、雪が少ないのは農作物にとっていいことではないという話も聞きます。洞爺地区では、積雪が少ないため、動物が畑を掘り起こしやすくなってしまい、被害がでているという話を聞きました。やはり冬から春にかけての大事な時期に畑を荒らされるのは、非常に大変なことだと思います。

また、雪がないと畑の土がしばれやすくなるという話も聞きました。雪があった方が冷たくなると思っていたのですが、雪が上にあった方がしばれにくく、土にとっては良い状態とのことでした。

北海道全体でみてもウィンタースポーツの施設の利用客が減り、観光客の減少によりさまざまな場所で悲鳴が上がっている状態です。

私は雪が少なく過ごしやすい冬だと思っていましたが、このような被害がでていることを考えると、難しい問題だと感じました。自然現象なので、仕方がない部分も大きいですが、温暖化や暖冬が続くようであれば、私たちの生活も見直していく必要があると思います。皆さんも、この機会にエコについてできることから取り組んでみてはどうでしょうか。